

えどがわエコセンターの仲間が表彰されました!!

足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ
気候変動アクション環境大臣表彰 普及・促進部門

この表彰は、地球温暖化防止に顕著な功績を残した個人・団体に贈られる賞です。今回、民家を改造して作ったオフグリッドハウス「松江の家」が評価されて受賞しました。



足温ネット
代表理事 奈良 由貴さん

—足温ネットの活動内容は？

1997年の発足以来、区内3カ所で市民出資による太陽光発電所を建設・運営するなど、地域社会の脱炭素化に向けて活動しています。

—オフグリッドハウス「松江の家」とは？

古民家に中古の太陽光発電パネルと鉛バッテリーを持ち込み、太陽光発電で必要な電力をまかなう「オフグリッドハウス」に改造したものです。

(オフグリッド：電力を自給自足するという意味)

—今後の活動予定やえどがわエコセンターと行っていきたいことは？

「オフグリッドハウス見学ツアー」のような、松江の家を利用した企画を一緒に行っていきたいです。



オフグリッドハウス「松江の家」

足温ネットのHP▶



日本野鳥の会 東京
日本自然保護大賞 選考委員特別賞

葛西海浜公園に広がる自然干潟・三枚洲を次世代に残そうと、ラムサール条約への登録を求める活動を積極的に行ってきました。今回、その功績が讃えられて受賞しました。



日本野鳥の会 東京
副代表 落合 はるなさん

—日本野鳥の会 東京の活動内容は？

自然保護の普及、自然観察・調査を中心に活動しています。

—日本野鳥の会 東京にとって葛西海浜公園とは？

ラムサール条約への登録を目指し、積極的に活動してきた場所です。登録された現在も野鳥が留まる居心地の良い環境づくりをしていきたいです。

—今後の活動予定やえどがわエコセンターと行っていきたいことは？

エコセンターが実施している「東なぎさグリーン作戦」は、野鳥の環境づくりにつながる、大変ありがたい取り組みです。今後もこのような活動を協力して行っていきたいです。



日本野鳥の会 東京のHP▶



エコカンパニーえどがわ

「エコカンパニーえどがわ」は、えどがわエコセンターが区と協働で取り組む「江戸川区版環境マネジメント制度」です。参加事業所募集中。詳細はホームページをご覧ください。



エコカンパニー
えどがわHP



認定NPO法人 共育・協働の環境づくり
えどがわエコセンター

編集・発行
住所：〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階
TEL：03-5659-1651 FAX：03-5659-1677
E-mail：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp
URL：http://www.edogawa-ecocenter.jp/
Facebook：https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter
開館時間：9：00～17：30 定休日：日曜・祝日



※機種によっては読み取りづらい場合があります



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.54

January 2021

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel (情報を送る) 2004年7月創刊

豊かな海・輝く地域の宝、葛西の海

●えどがわエコセンター 葛西海浜公園での取り組み●



葛西海浜公園西なぎさから望む朝日

葛西海浜公園 3つの魅力

- 自然豊かな干潟
- 人々が海と触れ合える空間
- 環境学習・交流の場

えどがわエコセンターの活動を通して、葛西海浜公園について学び、体験し、葛西の海の素晴らしさを知ろう!



楽しむ (ワイズユース)

10/17
実施

葛西海浜公園 魅力発見・探検ツアー

ラムサール条約に関する解説や浜辺での野鳥観察、干潟の生きもの展示、葛西の歴史や葛西海浜・臨海公園の紹介の他、観覧車に乗って上空からの公園見学など、たくさんのプログラムを実施しました。



葛西の歴史について学ぶ



ラムサール条約とは?

国際的に重要な湿地と、そこに生息・生育する動植物の保全を促進するための国際条約です。

正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。

賢明な利用
(ワイズユース)

保全・再生

ラムサール条約の
3つの柱

交流・学習

葛西海浜公園は、登録に必要な条件のうち3つに該当し、2018年にラムサール条約湿地に登録されました。

- ☑ 動植物のライフサイクルの重要な段階を支えている湿地。または悪条件の期間中に動植物の避難場所となる湿地
- ☑ 定期的に2万羽以上の水鳥を支える湿地
- ☑ 水鳥の1種または1亜種の個体群で、個体数の1%以上を定期的に支えている湿地



いくつ
見つけられるかな?

観察できる
主な生き物



(左から)
コアシサン
カンムリカイツブリ
ヤマトオサガニ

(右から)
イシミカワ
ニホンスナモグリ

先人たちが残してくれた宝物

自然豊かで
魅力あふれる葛西の海は、
多くの先人たちが自然を再生し、
保全してきた努力の結晶です。

葛西の海

えどがわエコセンターでは、
葛西の海の魅力を楽しみ、守り、
次世代へ引き継いでいく活動を行
っています。

海の豊かさを未来へ引き継ごう!



昔の潮干狩りの様子



現在の海水浴の様子

引き継ぐ (交流・学習)

12/13
実施

海洋環境専門家

木村尚氏 環境講演会&西なぎさ清掃活動



「ザ!鉄腕!DASH!!」の「DASH海岸」でお馴染みの木村尚^{たかし}さんを講師に招いて、清掃活動と環境講演会を行いました。第一部は、木村さんと交流をしながら西なぎさの清掃活動を行い、第二部では、東京湾の歴史や海中生物、里海を育てる大切さなどについてご講演いただきました。



12/9
実施

出前授業



清新ふたば小学校では、葛西の海に関する環境学習を行っており、えどがわエコセンターも講師を派遣し、葛西の海の歴史などを説明しました。



野鳥ゆったりウォッチング

例年
冬実施

葛西臨海公園「鳥類園」で鳥類観察を行うとともに、自然保護の重要性を学びます。



守る (保全・再生)

11/7
実施

東なぎさクリーン作戦



普段立ち入ることのできない東なぎさに船で渡り、漂着ごみなどの清掃活動を行いました。

その後、自然観察会では、鳥類・植物・底生動物について講師の解説を聞きながら観察し、生物の多様性について学びました。



3月頃実施予定

今後のイベント開催予定

屋形船に乗って、ラムサール条約登録湿地を見に行こう!

船上観察会

屋形船の中で、ラムサール条約や葛西沖の歴史など葛西海浜公園について学び、野鳥の観察も行います。



荒川プラごみクリーン作戦

葛西の海につながる荒川中土手に蓄積されたペットボトルなどの漂着ごみを清掃します。東京湾への流出を防ぐため、一緒に荒川をきれいにしましょう!!



荒川中土手の漂着ごみ

